

新型コロナウイルスで市民病院の収益減少

第2波に備え財政支援を継続

問 新型コロナウイルス感染症患者の受け入れによる市民病院の人員体制、経営状況への影響とそれに対する市の対応を聞く。

答 市民病院は、感染症患者の入院病床を確保するため4月1日より専用病棟を開設し対応してきた。感染症への対応は、市民病院が果たすべき使命であり、中期計画等にも掲げられた重要な役割である。感染リスクがある中、職員の退



感染症患者の専用病棟を開設

職もなく、病院が一丸となり厳しい局面に立ち向かっている。一方で、感染を恐れて一般の外来患者が減少し、病床の稼働率が大きく低下したことで収益は減少し、経営面

で大きな影響が生じている。そのため市は、感染症専用病棟の運営に必要な医療従事者の増員と施設整備等の経費の支援を5月に実施

パートナーシップ制度 関係機関と連携し

市は10月導入を目指す

問 新型コロナウイルス感染症により社会状況が変化する中、性的少数者の多くが医療機関の受診時をはじめ、さまざまな場面で不安を抱えている。誰もが自分らしく生きやすい社会を目指す取り組みの一つとして、パートナーシップ制度の早期の創設を求める。市の見

答 新型コロナウイルス感染症により社会状況が変化する中、性的少数者の多くが医療機関の受診時をはじめ、さまざまな場面で不安を抱えている。誰もが自分らしく生きやすい社会を目指す取り組みの一つとして、パートナーシップ制度の早期の創設を求める。市の見

した。今後も感染拡大の第2波に備え、市民病院と密接に連携し、感染症対応に必要な財政面等の支援を継続していく。

緊急性の高い情報 手話チャンネルなど 全ての人に届ける工夫

問 新型コロナウイルス感染症関連の情報など、緊急性の高い情報は、字幕や手話通訳等の情報保障が必要と考えるが、市の見解を聞く。

答 本市は、広報あかしやホームページのほか、明石ケーブルテレビで広報番組を放映し、市政情報を発信している。テレビ放映は、映像と音声での情報発信が主となるため、音声で情報が得られない人には手話と文字情報による発信



市からのお知らせを手話動画で配信

紙おむつの再生利用 SDGsを見据えた取り組み 国もガイドラインを策定

問 SDGsの推進に向けた使用済み紙おむつの再生利用について、市の見解を聞く。

答 本市の一般廃棄物に占める使用済み紙おむつの割合は、平成30年度のサンプリング調査結果で7%となっており、今後さらなる増加

が見込まれている。その処分は、本市を含めた全国の自治体に共通する中長期的な課題であり、再生利用すること

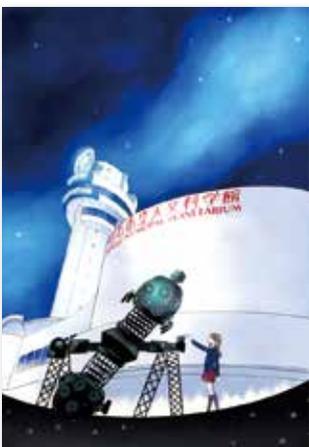
が実現されている。その処分は、本市を含めた全国の自治体に共通する中長期的な課題であり、再生利用すること

令和3年3月議会



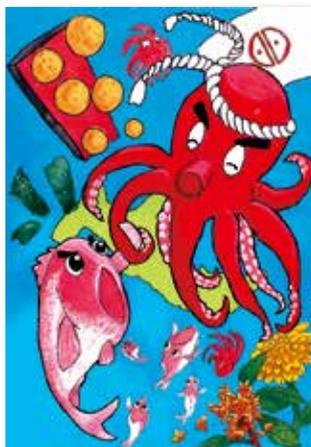
兵庫県立明石高校 田野 美優さん

令和2年12月議会



兵庫県立明石清水高校 永野 つき乃さん

令和2年9月議会



兵庫県立明石城西高校 岡田 奈々さん

令和2年6月議会



兵庫県立明石南高校 吉母 実鈴さん

「明石市の魅力を持つきっかけとなるようなデザイン」をテーマに、年4回の議会開催をお知らせするポスターのデザインを市内在住・在学の高校生から募集しました。8人の方から応募があり、全議員で選考し、優秀賞4点を決定しました。

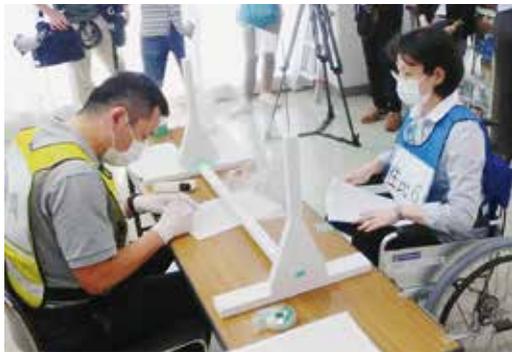
議会ポスターデザインが決定

避難所での感染症対策 運営方法を見直す 分散避難が有効な手段

問 コロナ禍における避難所の運営について市の見解を聞く。

答 避難所の感染症対策としては、受け付けで検温や体調確認を行い、発熱や体調不良の人には個別のスペースを確保する。また、感染者の濃厚接触者や海外か

らの帰国者には、専用の避難所を確保し、基礎疾患のある高齢者や障害者、妊産婦には、個別のスペースを確保したいと考えている。



コロナを想定した県の避難所研修

従来の避難所は、人が密集した環境での集団生活となり、感染拡大のリスクが高まる。対策としては、分散避難

の有効な手段となることから、指定避難所以外の公共施設や民間ホテル等の活用や、車中の避難が可能な駐車場の確保などを関係部署や事業者と調整してい

る。なお、通常の避難所運営に感染症対策の業務が加わり、より多くの職員が必要となることから、部署間の応援体制はもとより市職員OBの活用も検討していきたい。

結果で7%となっており、今後さらなる増加が見込まれている。その処分は、本市を含めた全国の自治体に共通する中長期的な課題であり、再生利用すること

が実現されている。その処分は、本市を含めた全国の自治体に共通する中長期的な課題であり、再生利用すること